



Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

Resolving
Social Issues
with IT Solutions

統合報告書

2019

2019年12月期

Profile

キヤノンマーケティングジャパングループ(キヤノンMJグループ)の強み

顧客基盤・営業力



私たちは、50年以上にわたり、キヤノン製品の販売を通じて多くのお客さまと強い信頼関係を築いてきました。ビジネスの多様化に伴い、お客さまのニーズも多岐にわたっています。この信頼と実績を活かし、大企業から中堅・中小企業まであらゆるお客さまのニーズに合った最適な製品やソリューションを提供しています。

ITソリューション技術力



高度な技術力をもった企業をM&Aし、先進の技術開発にも取り組み、技術を蓄積してきました。また、深い業務・業種での見識に基づいた高度な開発ノウハウを活かし、システム開発、クラウドサービス、データセンターサービス等、さまざまなITソリューションを提供しています。

キヤノンブランド



キヤノンの営業部門を母体として誕生以来、当社はキヤノンが製造するカメラ、インクジェットプリンター、オフィス複合機、レーザープリンター等のキヤノンブランド製品※を日本国内で独占的に販売し、高いシェアを継続的に獲得しています。さらに保守サービスや各種サポートも行っています。

※半導体露光装置・液晶基板露光装置・医療機器を除く

第三者評価

キヤノンMJは、FTSE4Good Index Seriesに16年連続で組み入れられており、2017年度より3年連続でFTSE Blossom Japan IndexとSNAMサステナビリティ・インデックスの構成銘柄に選定されています。また、2018年よりMSCI社が開発したESG総合型指数「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄に選定されています。



2020 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

THE INCLUSION OF Canon Marketing Japan Inc. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Canon Marketing Japan Inc. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

＞グループミッション

先進的な“イメージング&IT”ソリューションにより社会課題の解決に貢献する

＞グループビジョン

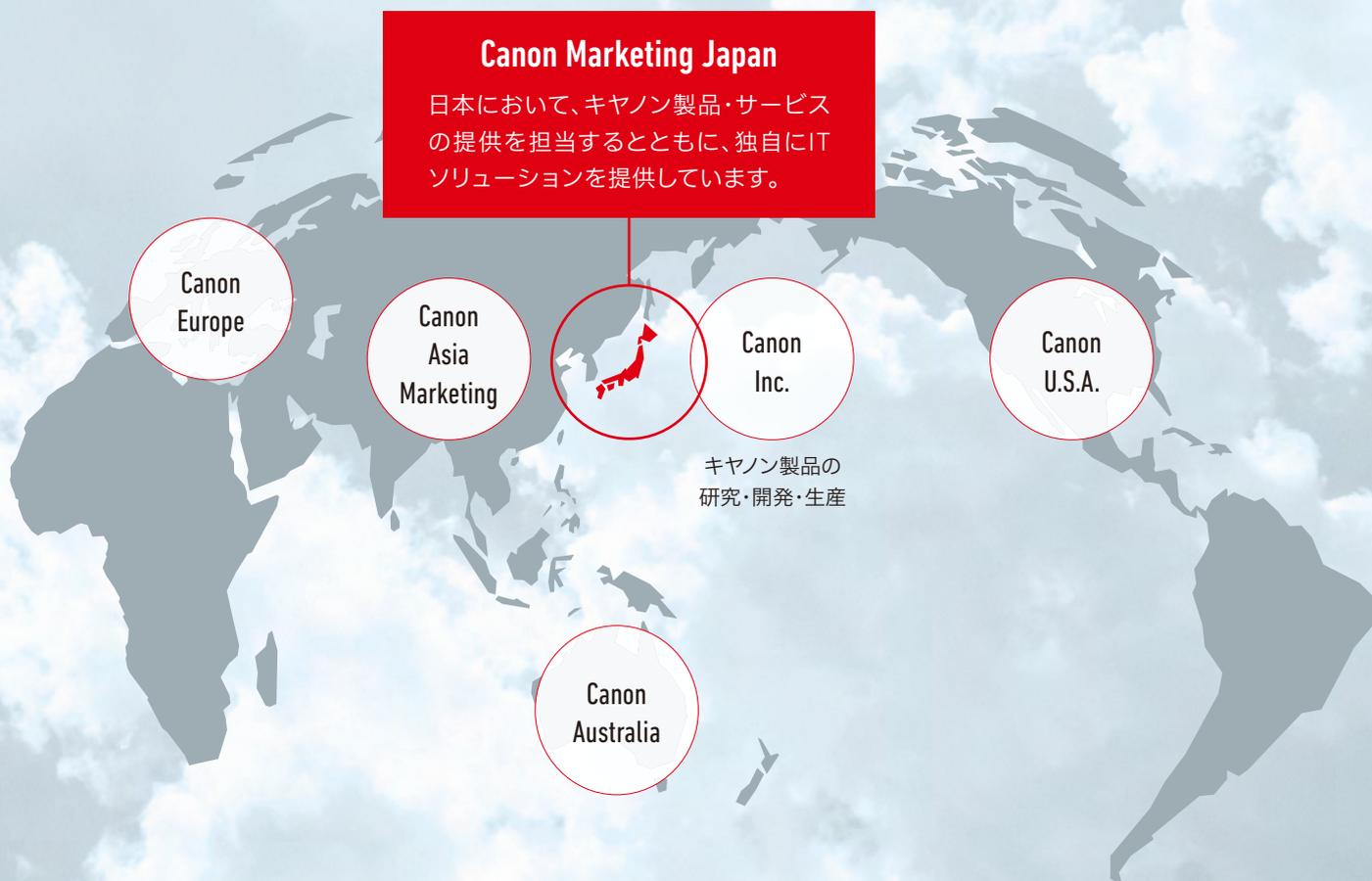
お客さまを深く理解し、お客さまとともに発展する
キヤノンマーケティングジャパングループ

＞設立

1968年

＞キヤノングループにおける位置付け

キヤノングループの日本におけるマーケティングおよび
ソリューションの提供



目次

キャノンMJグループについて

- 4 社長インタビュー
- 10 財務・非財務ハイライト
- 12 セグメント別業績概況

キャノンMJグループの価値創造

- 14 沿革
- 16 価値創造プロセス
- 18 成長シナリオ(中期経営計画)
- 20 特集: ケーススタディ ITソリューションで社会課題を解決

セグメント別事業戦略

- 24 コンシューマセグメント
- 26 エンタープライズセグメント
- 28 エリアセグメント
- 30 プロフェッショナルセグメント

サステナブルマネジメント—ESGの取り組み

- 34 サステナブルマネジメント
- 36 持続的な成長を支える取り組み
- 40 コーポレート・ガバナンス
- 47 取締役および監査役

財務・ESGデータ・会社情報

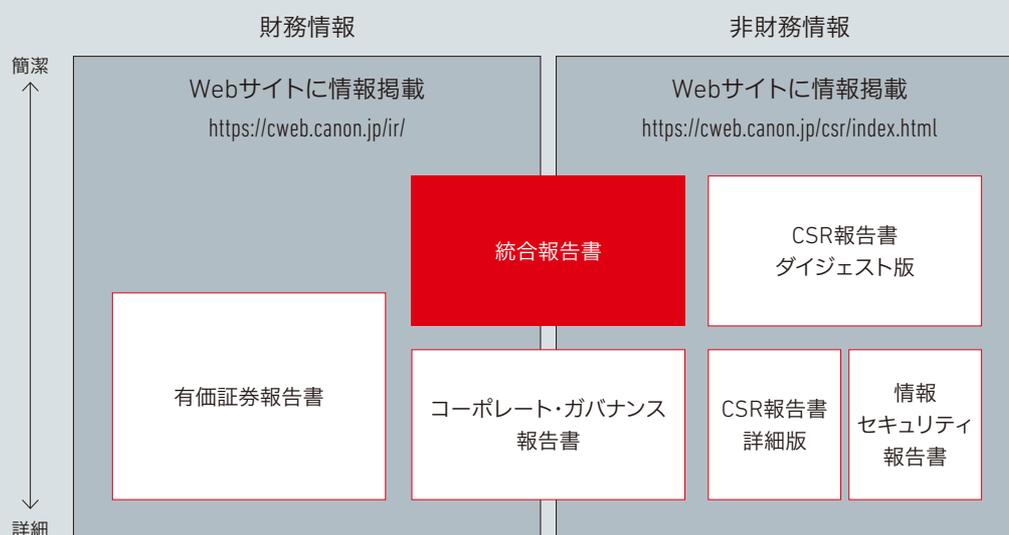
- 48 10年間要約財務情報
- 50 連結財務諸表
- 58 ESGデータ
- 60 キャノンMJグループ
- 61 会社情報

編集方針

キヤノンMJは、2019年12月期より、従来のアニュアルレポートに替え、統合報告書を発行することにいたしました。

統合報告書2019では、さまざまなステークホルダーの皆様がキヤノンMJグループの企業価値創造の理解に必要な情報の提供を目的としています。持続可能な社会の実現に向けてのキヤノンMJグループの中長期的な価値創造能力をご紹介するため、ESGなどの非財務情報を充実させています。また、財務面の詳細な情報はウェブサイト、有価証券報告書などでご覧いただけます。CSR関連の詳細な情報は、従来通りウェブサイトおよびCSR報告書などでご覧いただけます。

開示情報の種類と位置付け



参考としたガイドライン

国際統合報告評議会 (IIRC) 「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省 「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」

対象期間

2019年度 (2019年1月1日~2019年12月31日)

一部に2018年度以前および2020年度以降に予定されている活動や情報も含んでいます。

対象範囲

キヤノンマーケティングジャパン株式会社および国内外のグループ会社

見通しに関する注意事項

本統合報告書には、キヤノンMJグループの将来の業績、経営計画などの将来に関する見通しが記載されています。これらはすべて本報告書の発行時点で有効な情報を考慮に入れた経営陣による仮定に基づいています。

このため、日本および他の主要な海外市場における消費者動向、民間設備投資、主にドルに対する為替変動、原料価格、特定の国ないし地域における政治的混乱などの要因が、実際の業績に影響を及ぼす可能性があります。